



掛川とペーザロの食材を組み合わせてできた
交流メニュー―掛川市

姉妹都市 交流料理を考案

掛川とペーザロの食材で2品

掛川西高の生徒が掛川市の姉妹都市、イタリア・ペーザロ市の食材を使った交流メニュー2品を考案し、22日に掛川城そ

西高生 試食会

ばのイタリアレストラン「ペーザロ」前で発表試食会を開いた。今後、同レストランのメニューに加えられる予定。

レストランから依頼され、食物研究部とフードデザインを選択授業受講生が1品ずつ開発した。「豆乳クリームパスタ」は掛川産キャベツの甘さとベーコンの塩味をクリームでまとめた。「海の恵み香るパスタ」は両市に共通する「海辺の都市」から着想。バターとオリーブオイルで魚介の風味を引き出した。いずれもオイルはペーザロ産を使用した。

会場で生徒たちが2品を調理し、香りに引かれて多くの観光客らが試食に集まった。食物研究部の安間瑞稀部長(2年)は「このメニューをきっかけに、より多くの人にペーザロのことを知ってもらいたい」と話した。

(掛川支局・宮坂武司)